

# ムンバイ・インフォーマル市街地におけるパブリックスペースの調査

羽ばたけフリープランB

建築・都市システム学課程 4年

毛利 智明

## アウトライン

- 研修期間
- 渡航先の国・都市
- 研修先機関
- 研修の概要
- 学んだこと
- 改善点
- 今後の抱負

# 研修期間

- 2019/10/11～10/22
- 12日間

# 費用

- 羽ばたけ！様から 10万円

- 新幹線1.6万円
  - 飛行機6.8万円
  - ビザ0.2万円
  - 現地11泊1.5万円
- 小計10万円

自己負担：食費、生活費3万円

# 渡航先の国・都市

- インド・ムンバイ（東京から10時間）
- 人口：2000万人（東京都1300万人）
- 気候：熱帯気候（滞在時は乾季）
- 宗教：ヒンドゥー教、イスラム教、仏教など
- 言語：ヒンディー語、英語など



## 調査対象地：ダラーヴィ

- アジア最大のスラム
- 低所得層が住む
- 高密な市街地



# 調査対象地：ダラーヴィ

- 中所得者層も住む
- 産業が盛んで治安が良い
- 印象「労働者と元気な子供が多い平和な下町」



## 研修先機関

- Urbz Mumbai
- ダラーヴィ・スラムで研究・改善事業を行なっている国際NGO
- 世界とスラムの架け橋&コミュニティ育成・改善など
- 政府が動かないようなところを支援
- 都市計画家、建築家、グラフィックデザイナーなど



彼らのサポートの元、現地調査を行った

# 研修の概要

主に現地調査



ダラーヴィ・コリワダにて

- 全てのパブリックスペースの形態及びその機能について調べる
- ランドオーナーへのインタビューやUrbz職員との意見交換を通して、ダラーヴィ・コリワダのガバナンスや開発ルール等についての現状を調べる

## 1日の流れ

- ~10時：今日必要な資料の作成→印刷
- 10時～：調査地に向かう
- 11時～：現地の協力者と合流→打ち合わせ
- 12時～14時：調査
- 14時～15時：ランチ
- 15時～17時：調査
- 18時～：帰宅→ミーティング、明日の作戦会議
- 20時～22時：ジム
- 23時～25時：資料の整理



# アウトライン

- 研修期間
- 渡航先の国・都市
- 研修先機関
- 研修の概要
- 学んだこと
- 改善点
- 今後の抱負

## 学んだこと

- パブリックスペースの重要性
- 共通の認識をもつことの重要性
- 問題解決力
- 現地の人々の文化



## 改善点

- 宿をケチりすぎたこと
- プロテインをもっと持ち込むこと
- 観光すればよかった



## 今後の抱負

- 本プログラムで得たデータを分析して12月の学会で発表すること
- 本プログラムで得た学びを活かし、今後の研究活動を豊かにすること
- Urbzの職員と今後もコンタクトを続け、お互いに良い関係を築くこと

# 印象に残った出来事

- 筋肉は友達

